

# このまちの未来を見つめて

昭和18年11月3日、伊田町と後藤寺町が合併して田川市が誕生。そして80年後の令和5年11月3日、これまでの歴史を振り返り「ふるさと田川市」への誇りと愛着を高めるため、田川市市制施行80周年記念式典を開催しました。



特別な11月3日

田川市市制施行80周年記念式典は田川東中学校制作のオープニングムービーから始まり、戦後の復興や石炭産業の盛衰など、激動の時代から現在に至る歩みを写真と映像で紹介。スクリーンに映し出された懐かしい原風景、困難な時代でも笑顔でたくましく生き抜いてきた先人たちの姿に、会場からは大きな拍手が送られました。また、オープニングアトラクションでは宝保育園の園児が登場。息がぴったりと合った迫力の和太鼓演奏を披露しました。

⑥宝保育園園児の力強い太鼓が式典に花を添える⑦市政功労者の称号を受ける高瀬富士夫市議会議員⑧田川創作炭坑節宗家月咲SEEDの演舞⑨来賓祝辞を述べる武田良大衆議院議員と⑩佐々木允福岡県議会副議長⑪主催者として挨拶する陸田孝則市議会議長と⑫村上市長⑬本市発祥の「炭坑節」を声高らかに合唱⑭オープニングムービーを上映。映し出された写真は昭和30年代の集団就職列車見送りの様子



## 市制80周年記念特別表彰



市制80周年記念特別表彰として、市政の振興発展などに貢献した市政功労者、文化の向上発展などに貢献した文化功労者、市民活動感謝状贈呈者（ボランティア活動などで地域振興に尽力した人、学術・芸術・スポーツなどの分野で功績をあげた人）を表彰しました（全115件）。上記写真は代表として登壇した、左から原吉徳さん（市政功労者）、古舘政次さん（文化功労者）、上條美智子さん（市民活動感謝状贈呈者・たがわ21女性会議）。また、令和5年度の市政功労者称号授与と市民活動感謝状贈呈も行われました。

表彰者の名前や団体名などを掲載した記念式典の冊子を市ホームページで公開しています。



## 記念品に田川市産の新米



田川市産の新米（約2合）を記念品として来場者に贈呈しました。



①市制施行70周年記念式典で作文を発表する仲村さん②10年後の思いを語る仲村さん③タイムカプセルに込められたメッセージを会場内に掲示しました④⑤田川科学技術高等学校生産意匠部の生徒（平成25年当時）が手掛けたタイムカプセルを10年ぶりに開封

へ伝え、郷土に誇りを持つ心豊かな人材を育むことが重要です」と式辞を述べました。式典にはたくさんの方の来賓のほか、市政功労者などさまざまな活動で市政の振興発展などに貢献してきた人々も臨席。その代表者が登壇し、市制80周年記念特別表彰、令和5年度市政功労者称号授与、令和5年度市民活動感謝状贈呈が行われました。

続いて行われた「タイムカプセル開封」は、市制施行70周年記念式典から引き継いだ周年企画。平成25年当時の市内小中学生が書いた未来へのメッセージを込めたタイムカプセルが、10年の時を経て開封の日を迎えました。当日は、10年前に生徒代表として作文を発表・封入した仲村美紅乃さん（旧中央中学校出身）が登場し、タイムカプセルの鍵を開けました。「10年後も共に笑って暮らしたい」と題した自身の作文や同級生の寄せ書きを改めて読み返した仲村さんは「作文には、放送部として東日本大震災に関するビデオ番組を制作したことを書いています。宮城県での取材で被災された方々の思いに触れたこと、今でもありありと思い出します。寄せ書きには、当時の夢を叶えている同級生の名前がありました。またみんなが集まって話したいです」とにっこり。

式典を締めくくるのは、本市発祥の「炭坑節」。炭坑節の継承や全国への発信に取り組んでいる「田川創作炭坑節宗家月咲SEED」がステージに立ち、創作炭坑節などのダンスを披露しました。最後には「会場の皆様と一緒に炭坑節を歌いましょう！」と呼びかけ、全員で炭坑節を大合唱しました。

## 90周年100周年へ向けて

田川市は市制施行80周年を越えて、新たな一歩を踏み出しました。次の90周年・100周年、その先の未来に、伝統や文化、魅力があふれるふるさと田川を継承していくことができるよう、今後市民みなさんのご協力をよろしくお願ひします。



80年  
もっと田川  
ずっと田川

ロゴマーク・キャッチフレーズへの思い

【ロゴマーク】

制作者 **福山 ふみ**さん（田川市在住）  
80周年の「0」を田川市の市章を少しアレンジして、光っているようなデザインにしました。私の生まれ育った田川市の80周年に参加することができ、とても嬉しく思います。これからも田川市の魅力がもっとたくさんの人に伝わっていくことを願っています。

【キャッチフレーズ】

制作者 **板垣 宏**さん（群馬県前橋市在住）  
田川市が未来に向けてもっと発展、ずっと発展していくまちであってほしいという思いを込めました。90周年、100周年に向け田川市がますます発展されることを祈っています。私が田川市を訪問したのは40年以上前の鉄道旅行でした。ぜひ、また訪れたいと思います。

さまざまな冠事業が行われました

【民間団体や個人が主催する事業】

- 国際交流広場 in ばんだごおら（福岡県立大学と共に歩む会）
- 田川民踊舞踊まつり（中山民俗舞踊研究所福岡支部）
- ジビエ体験バーベキュー（田川猟友会伊田支部ジビエ普及促進実行委員会）
- たがわ異文化交流カフェ（福岡県立大学まちづくりサークルたが輪）

【市が主催・共催する事業】

第63回田川市民体育大会／なるほど人権セミナーたがわ／田川市芸術文化体験事業／人権・同和教育中央講座／たがたん健康ポイント事業・中間計測会関連イベント／田川市自由研究プレゼンテーション大会／市民文化祭（秋季）／第43回幸せを開く健康展／田川市公民館まつり／ふくしまつり／これだけは知っておきたい人権基礎講座／田川市石炭・歴史博物館秋季炭坑記録画原画企画展／第6回福岡県中学生英語スピーチコンテスト田川市大会／こども音楽祭／少年の主張「田川市大会」／人権週間講演会2023／第16回「第九を歌うバイ in たがわ」／田川市子どもカルタ大会／二十歳のつどい／田川市社会福祉大会／シルバー趣味の教室作品展・芸能大会／家庭教育講座

※2月15日時点で実施予定の事業を含む



▲ジビエ体験バーベキュー（1月14日）



▲田川市公民館まつり（10月8日）

90周年・100周年へ  
このまちの  
未来を見つめて

Power for the future

若者たちの支え

市内3中学校の生徒たちが、式典の司会やオープニングムービーの制作に携わるなど市制施行80周年記念式典は若者の力に支えられていました。



①右から猪位金学園の田代詩織さん、浦田琉季さん、田川西中学校の山本心愛さん、井戸結衣さん。浦田さんは「最初は緊張しましたが、だんだん司会に慣れてきて楽しく終わることができました」と話しました



市制施行80周年記念式典では、本市の未来を担う子どもたちに郷土への愛着や誇りを一層深めてもらうことをコンセプトとして、市内3中学校の生徒のみならず、市会とオープニングムービーの制作をお願いしました。司会を担当したのは、田川西中学校と猪位金学園の放送部です。大役を担った4人の生徒は、4月に入学したばかりの新人部員。学業の合間を縫って日々練習に励み、数多くの来賓や表彰者の紹介、舞台上でのインタビューなどさまざまな司会業務を立派に務めました。

オープニングムービーの制作を担当したのは、田川東中学校放送部の2年生です。写真や動画などから80年の歴史を学び、それらを繋ぎ合わせて動画を編集しました。また、田川市や「ふるさと」から連想するキーワードで生徒たちが歌詞を作り、顧問の佐藤行彦主幹教諭が作曲。さらに、旧伊田中学校出身の歌手・中ノ森文子さんの美しい歌声によって「H.U.R.U.S.A.T.O」が完成しました。

さまざまな歴史を振り返りながら未来へ思いをはせる映像や写真、心に響く歌に、会場は拍手喝采。動画資料を提供した山中敏明さん（橋地区）は「素晴らしい作品に感激・感涙です。若い方々にはぜひ、田川市の80年を改めて見返して、未来に向かって進んでほしい」と話しました。



田川市80周年記念曲&動画

# URUSATO

作詞：田川東中学校放送部&佐藤行彦  
作曲：佐藤行彦  
歌唱：中ノ森文子さん  
資料提供（写真）：橋本正勝さん  
資料提供（動画）：山中敏明さん

市広報のYoutubeで公開中▶

②放課後は部室に集まって編集作業。手前から、姫野優誠さん、福田向葵さん、有吉映人さん、森崎玲菜さん。姫野さんは「式典の会場で自分たちが制作した動画が上映されたとき、取材や編集を頑張ってたよかったです」と話しました